

市政懇談会

南丹市総合振興計画と行財政改革の推進について

20.7.23 ~ 8.26 18会場



南丹市

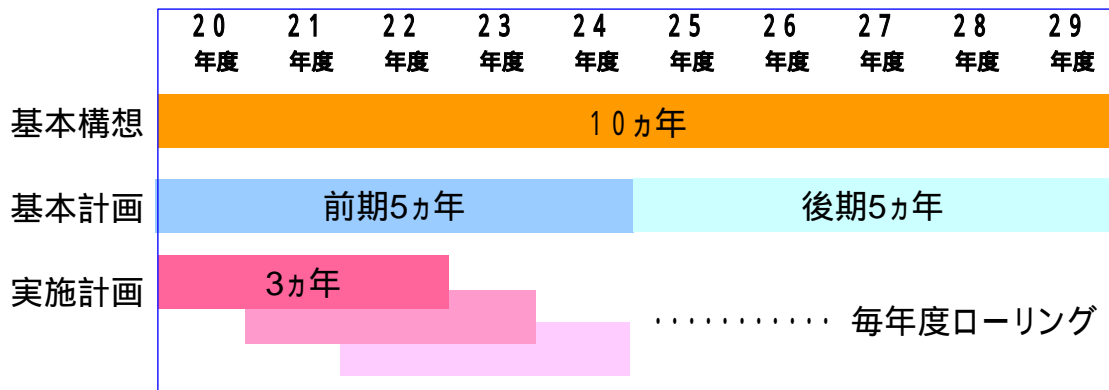
こんばんは
ようこそ市政懇談会にご出席くださいました

協働のまちづくりをめざして
市政をご理解いただくために

南丹市総合振興計画

～ 合併協議による「新市建設計画」をふまえ
10年後の南丹市を展望～

計画の構成と期間



基本構想で示す南丹市の将来

<まちづくりのテーマ>

みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る

<将来の南丹市のイメージ>

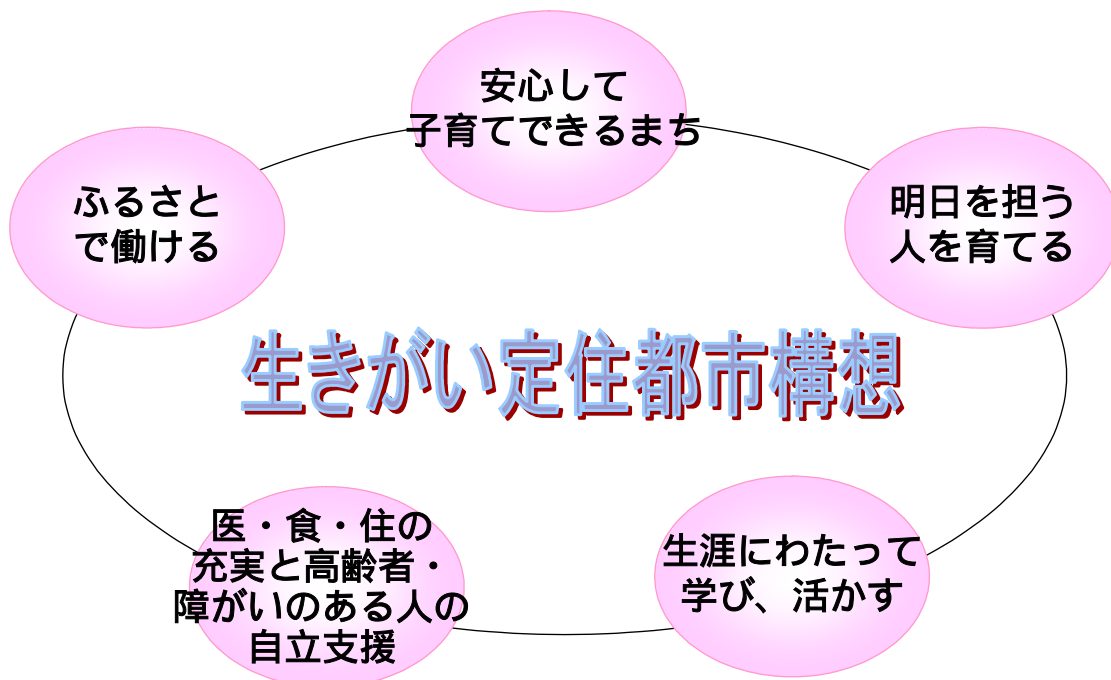
森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市

南丹市の将来像を達成するために…

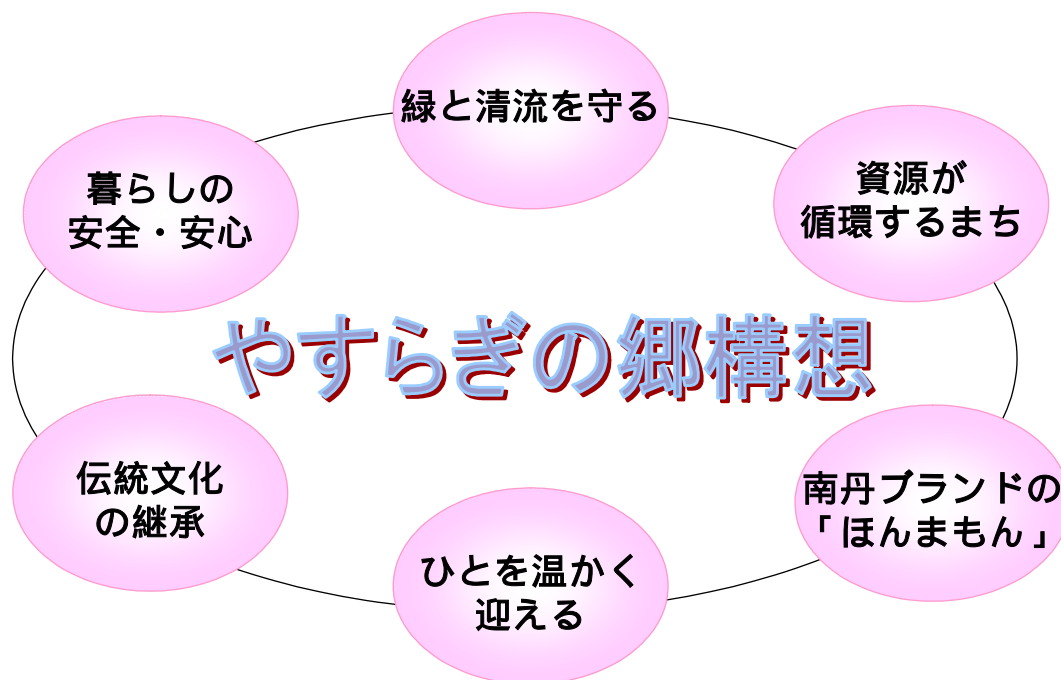
基本計画

に施策の方針を示しました。

1 生涯充実して暮らせる都市を創る

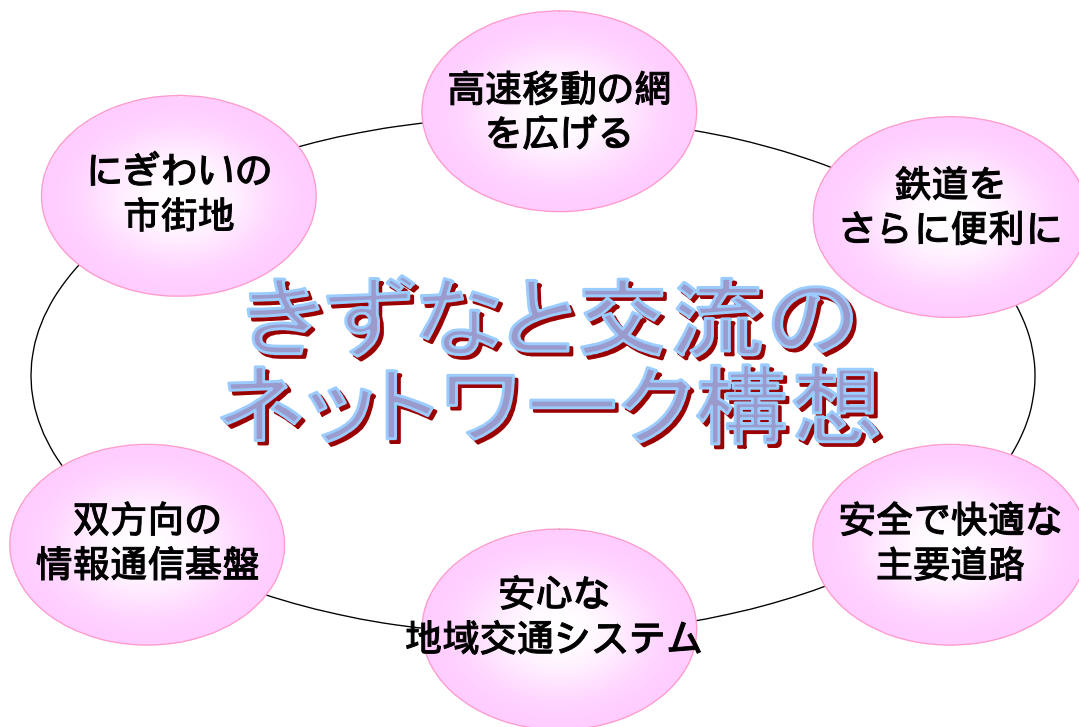


2 自然・文化・人を活かした郷を創る



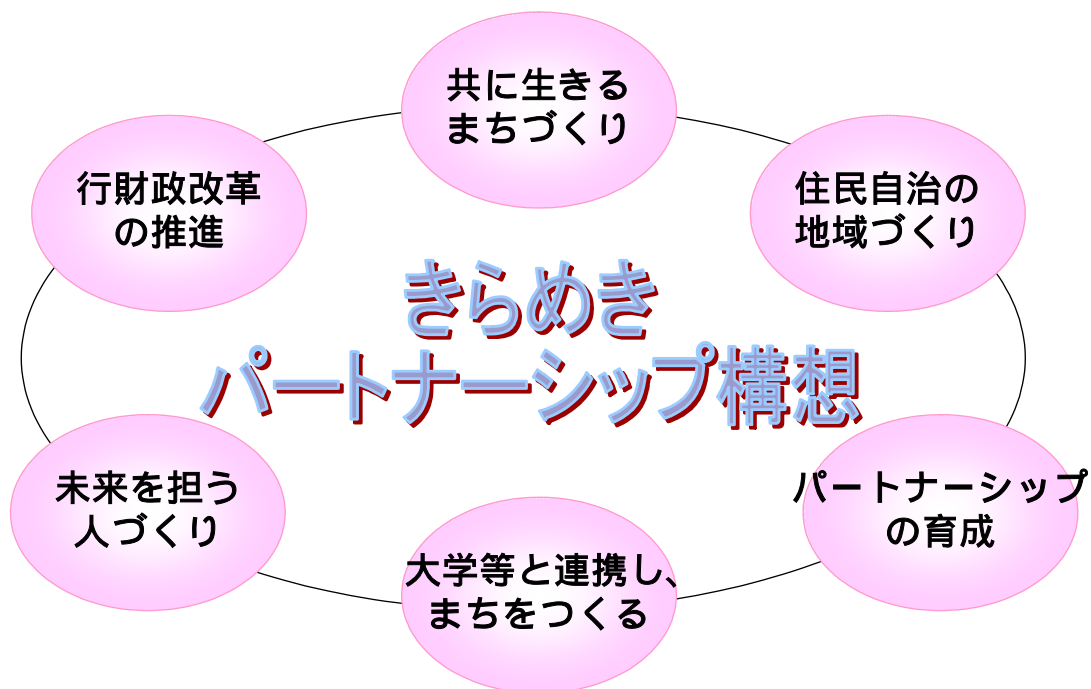
基本計画

3 人・物・情報を高度につなげる



基本計画

4 共に担うまちづくりの仕組みを築く



3年間の実施計画

施策の方針を実現するための主要事業 **203事業**を掲載

【計画期間】 平成20年度～平成22年度

- ・現状の課題から、具体的な実施内容、目的と効果を示しています
- ・各年度の事業概要と目標、事業費を示しています



毎年の見直しと、「財政の見直し」、「行革の視点」

- ・社会情勢の変化や動向に対応し、現実に調和したものとするため、毎年度に見直しを行います
- ・実施計画の推進にあたっては、将来にわたる財政の見直しや行財政改革推進の視点に立ち、執行していきます

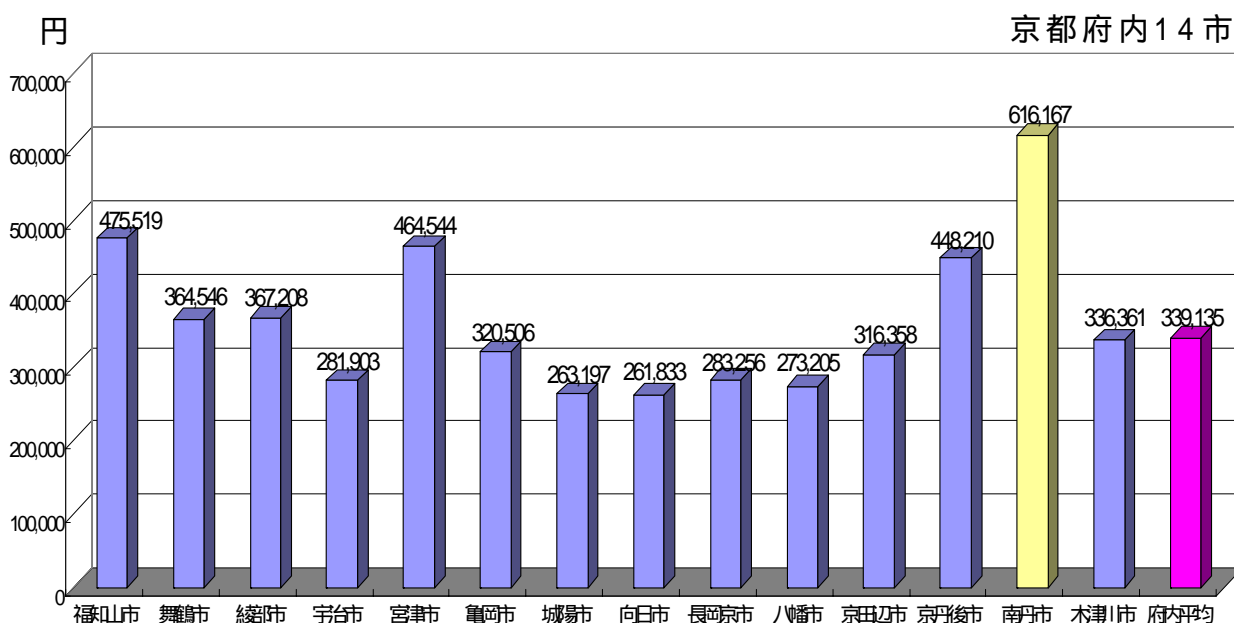
南丹市の財政状況

私たち南丹市民一人当たりの予算などを
府内の自治体と比べてみましょう

平成20年度予算 京都府内14市予算額比較

□ 当初予算額 (市民1人当たり)

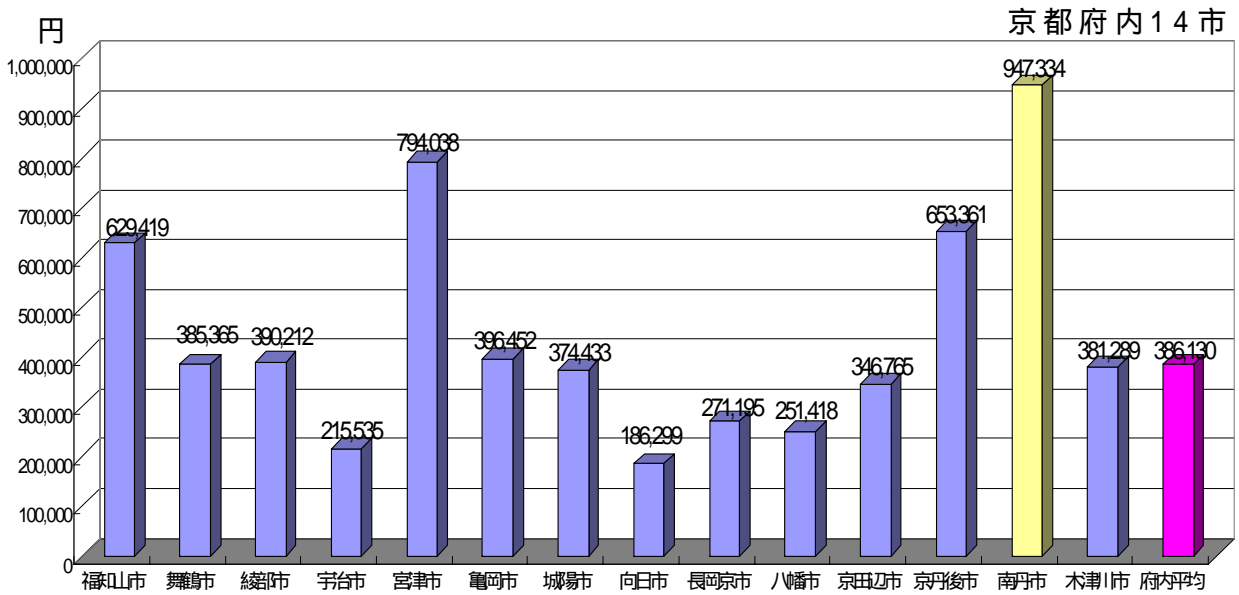
私たち1人当たりの予算額は616,167円



南丹市民1人にかかる予算616,167円は、京都府内14市平均339,135円の約1.8倍となっています

市債残高（見込）（市民1人当たり）

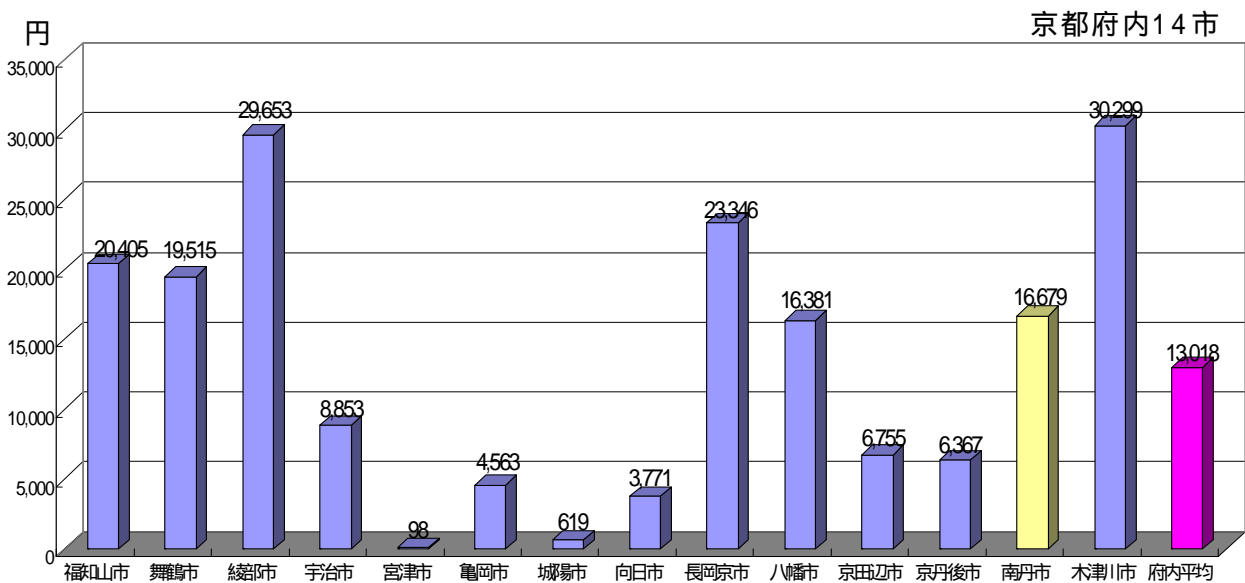
私たち 1人当たりの借入額は947,334円



南丹市民1人当たりの借入額(市債残高)947,334円は、京都府内14市平均386,130円の約2.5倍 突出した厳しい財政状況となっています

財政調整基金残高（見込）（市民1人当たり）

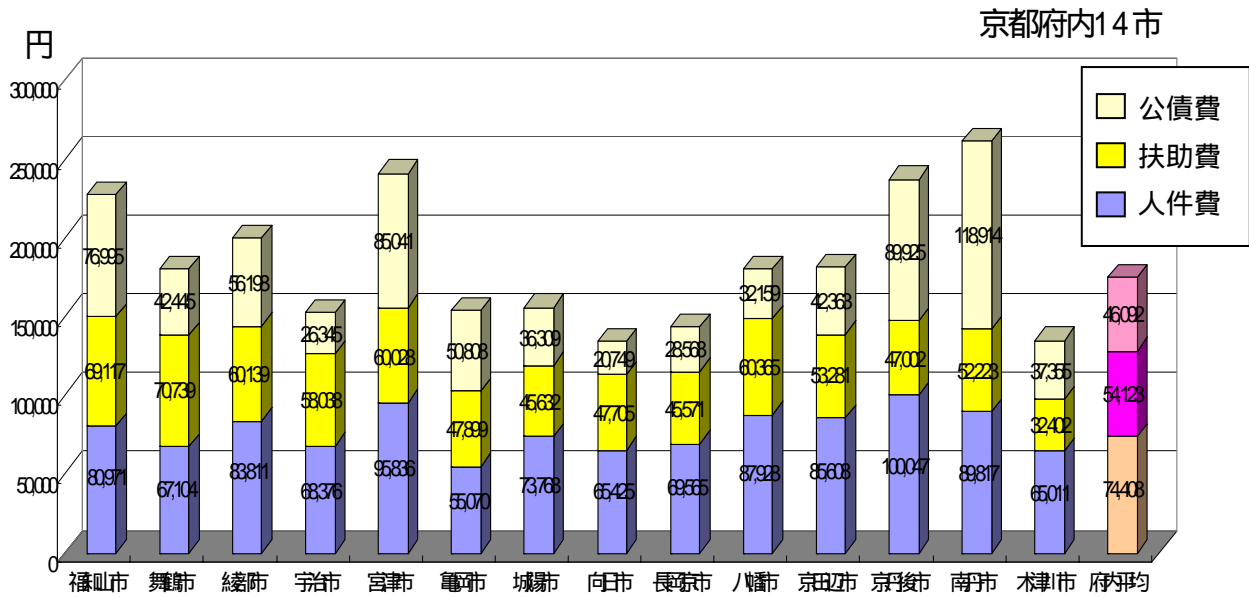
私たち 1人当たりの貯金額は16,679円



一方、南丹市民1人当たりの貯金額(財政調整基金残額)16,679円は、京都府内14市平均13,018円の約1.3倍となっています

義務的経費（市民1人当たり）

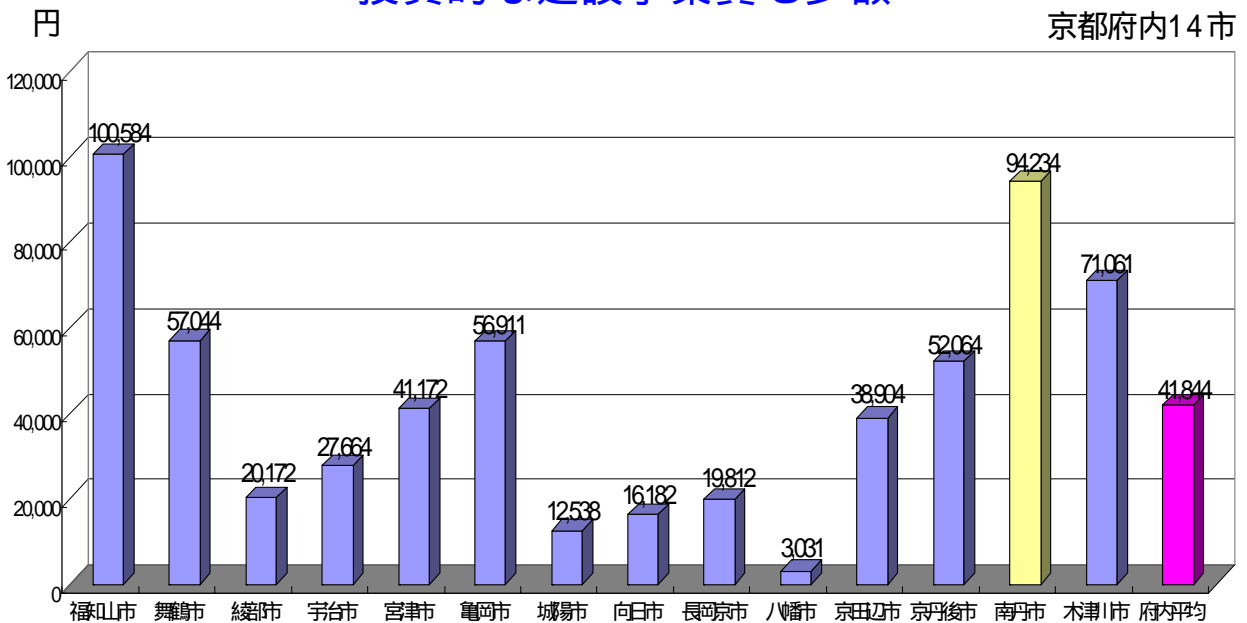
歳出の42%は削減しにくい義務的な経費



公債費、扶助費、人件費などの支出が義務付けられ、任意に削減しにくい義務的経費が多額となり、歳出の42%を占める厳しい財政状況となっています

普通建設事業費（市民1人当たり）

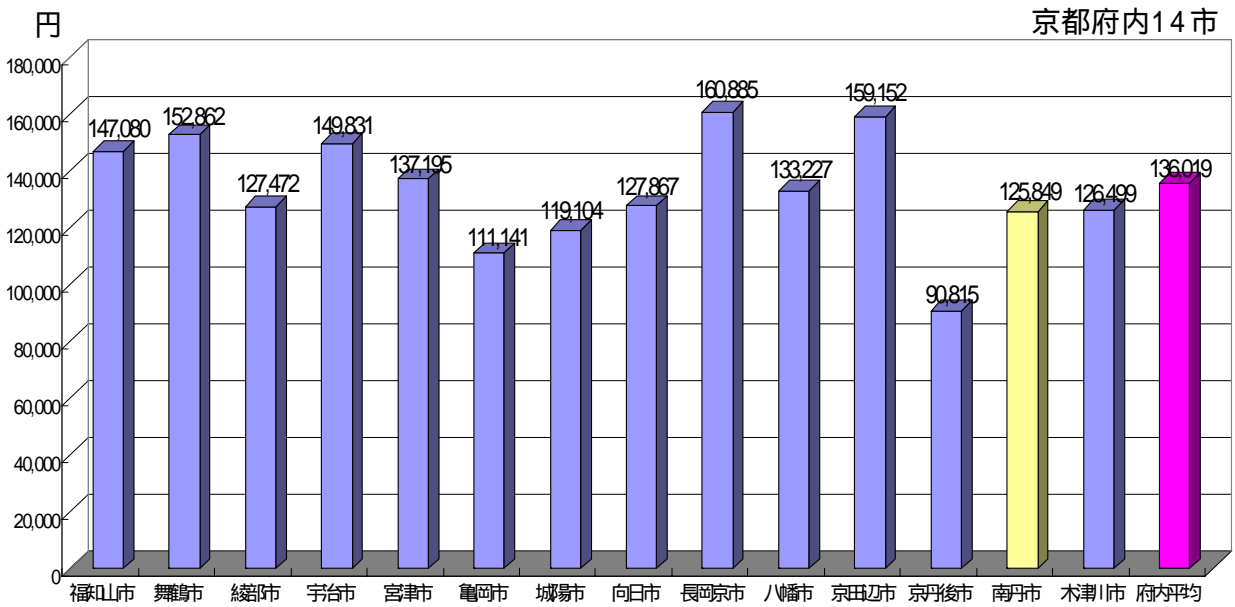
投資的な建設事業費も多額



施設建設などの投資的な建設事業費(94,234円)も多額に上り、京都府内14市平均41,844円の約2.2倍となっています

市税（市民1人当たり）

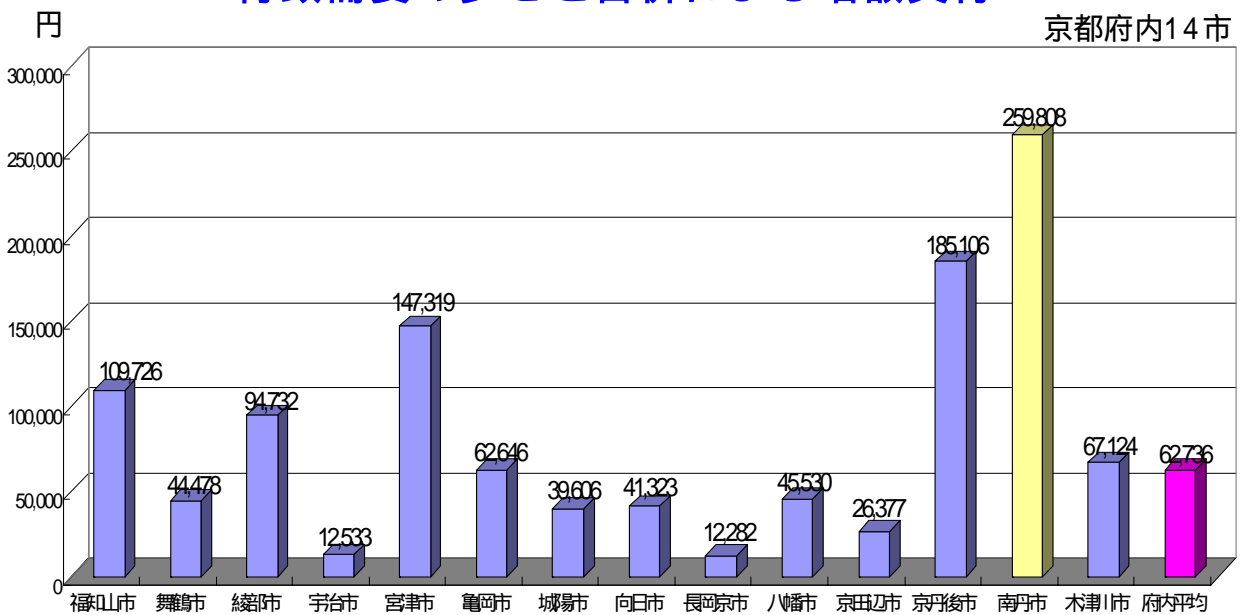
府内平均を下回る税収



市民1人当たりの市税収入は、府内平均を下回っていますが、積極的な企業誘致により、将来の増収に務めています

地方交付税（市民1人当たり）

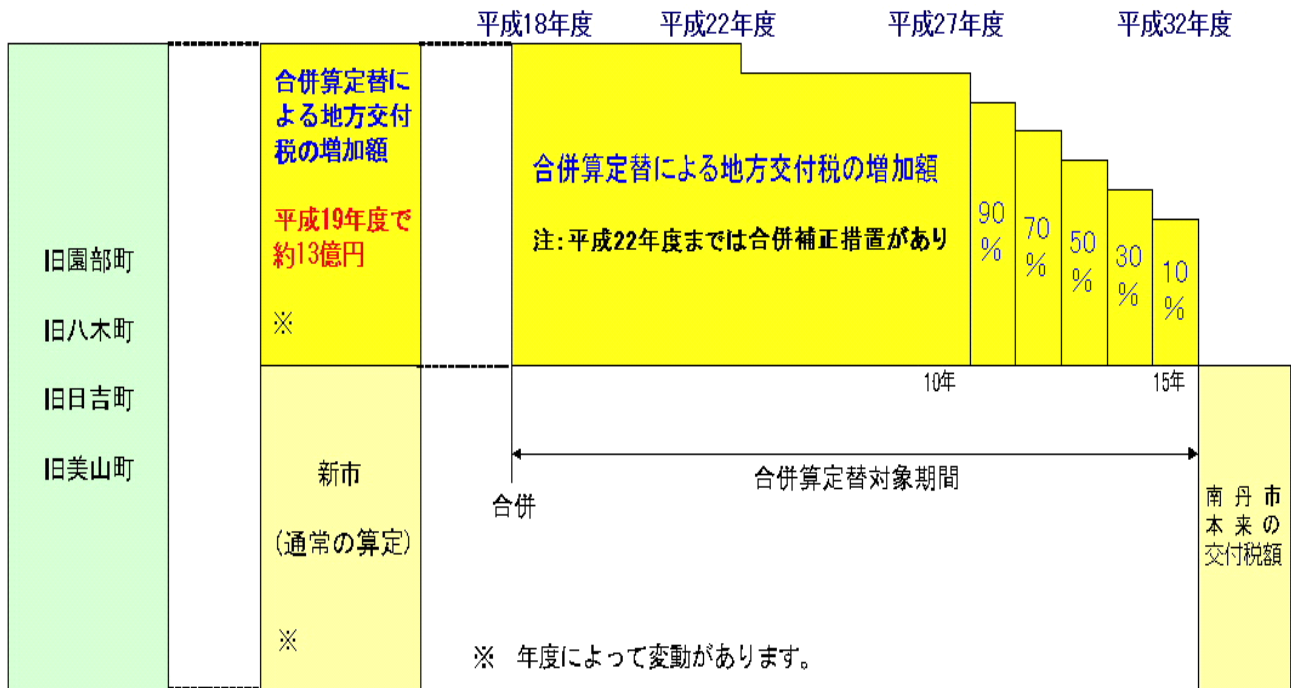
行政需要の多さと合併による増額交付



歳入の4.2%を占め、府平均の約4倍もの交付となり、地方交付税への依存が非常に大きくなっています

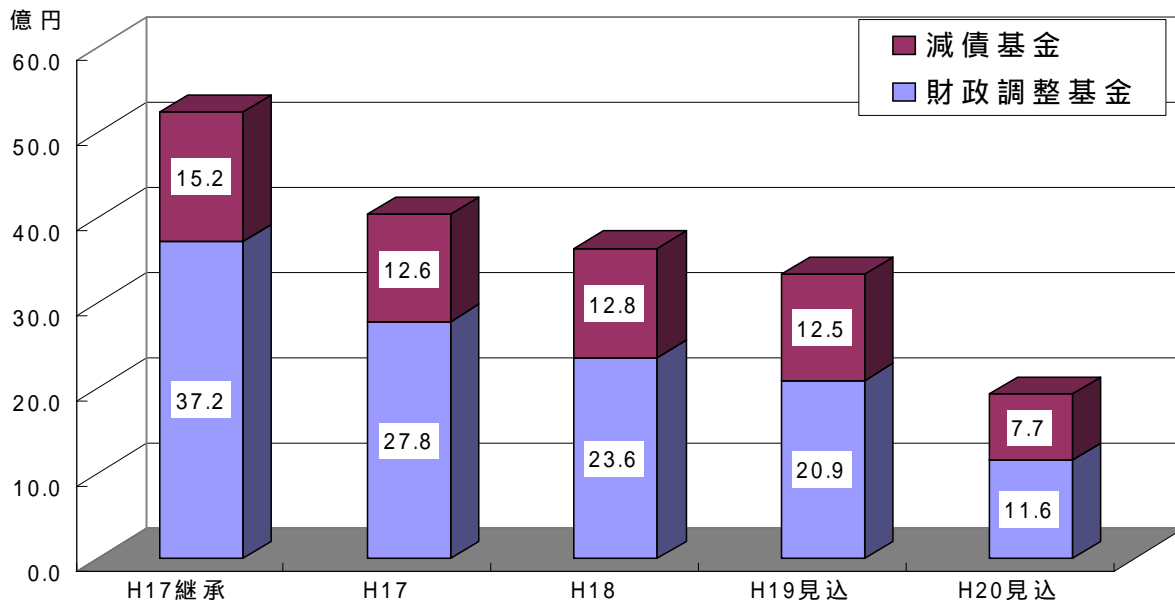
合併後の普通交付税の推移

28年度から毎年度減額



基金残高の推移

底をつく一般会計基金の年度末残高



旧4町から引き継いだ基金52億4千万円の残高は、20年度末には19億3千万円となる見込みです

■ 行財政改革の取り組み

行財政の改革でまちづくりの基盤づくり

改革の目的

時代に即した行政需要に対する的確な対応
市民サービスの向上
行政運営の適正化・効率化

～単なる削減・縮小のみが目的ではない～

南丹市が行財政改革で目指すもの

「次代を切り拓く」行財政運営

見直すべきは見直し、改めるべきは改め、伸ばすべきは伸ばす「選択と集中」

「市民と共に築く」市政運営

誇りと絆を大切に市民と行政が手を携えた市政運営の確立

(平成18年12月策定 南丹市行政改革大綱より)

南丹市行政改革推進計画の策定 (平成19年3月)

取り組む施策や目標年度を明記

南丹市行政改革実施プラン (平成19年6月策定)

合併に伴い全市に拡大した事業等の抜本的な見直し
地域の振興、雇用確保、税収増を図るための企業誘致の推進
合併で生じた不均一の解消や受益と負担の均衡
職員の削減と事務経費の削減など、喫緊に取り組むべき18項目



総合振興計画の推進

新しいまちづくりの実現

南丹市総合振興計画を推進し、

“ 森・里・街がきらめくふるさと南丹市 ”を創るために

最小の経費で最大の効果を得る取り組みを……

厳しい財政状況の中で、様々な環境の変化に適応しながら、安定的で質の高い公共サービスを持続可能とする行政運営を確保するためには、スリムで効率的・効果的な行財政システムと最小の経費で最大の効果を得る取り組みが必要です。

市民と共に見直す体制づくり ⇨ 「行政評価」

本当に効率的で効果的な事業なのか。市民のことを考えた施策なのか。

南丹市の施策や事業について、既存事業の見直しも含め、市民の皆さんと意見交換ができる取り組みを進めます。

市民と共に築くまちづくり ⇨ 「市民協働」

行政の役割とは何なのか。

市民の皆さんにどのような役割を担っていただくのか。

市民の皆さんと一体となって、共に築いて行ける体制の整備を推進します。

5年後、10年後...そして将来を担う子ども達のために...



ご清聴ありがとうございました

南丹市を”合併してよかった”と言えるまち

”森・里・街がきらめくふるさと”を創るために

皆さまのご理解とご協力を

よろしく申し上げます

南丹市